

◆印刷プレビュー

共通教育科目 > 総合科目a(現代を読み解く・世界を読み解く) > 地域の個性と異文化理解

授業科目名[英文名] / Course Title	世界遺産への招待[Invitation to World Heritage]		
担当教員名[ローマ字表記] / Instructor	<a href="#">森 雅秀</a> [MORI, Masahide]		
時間割番号 / Course Number	70167	科目区分 / Category	総合a(現代を読み解く・世界を読み解く)
講義形態 / Lecture Form		対象学生 / Assigned Year	全学生
適正人数 / Class Size	150	開講学期 / Semester	後期
曜日・時限 / Day・Period	木曜・5限	単位数 / Credit	2
キーワード / Keywords	世界遺産, 文化遺産, 文化資源		

●「共通教育科目」の時間割番号は、平成17年度以前入学者は頭の数字を「7」ではなく「9」として履修登録してください。

授業の主題 / Topic

世界遺産への招待

授業の目標 / Objective

世界遺産、とくに文化遺産のもつ歴史的背景、文化史的意義、現代社会との関わり、保存と維持、活用について学ぶ。

学生の学習目標 / Learning Outcomes

世界遺産の魅力を知るとともに、文化に対する総合的な考察を行う方法を身につける。

授業の概要 / Outline

法隆寺、姫路城、京都や奈良の古寺、白川郷の合掌造り、原爆ドーム、石見銀山、紀伊山地の霊場、平泉・・・。これらは日本にある世界遺産の一部です。世界遺産については、テレビや新聞などのメディアを通じて、多くの人がある程度の知識を有しているでしょう。ユネスコの世界遺産センターが選定していること、暫定リストに掲載して、審査を経て決定されること、世界中に1000近い世界遺産があること、世界遺産には文化遺産だけではなく、自然遺産や、両者を含む複合遺産があることなどです。

この授業では世界中にあるさまざまな世界遺産を紹介します。日本、中国、東南アジア、南アジア、西アジア、中近東、ヨーロッパ、アメリカ大陸と、ほぼ世界中の世界遺産を取り上げます。しかし、有名な世界遺産をつまみ食いのように紹介するだけでは、テレビの娯楽番組と変わりません。そのようなありきたりな観光ガイドは期待しないでください。

ひとつの文化遺産の背景には、幾重にも折り重なった歴史があります。そのひとつひとつを読み解くことで、文化遺産が生み出され、受け継がれてきた背景を知ることができます。それは、人類が作り出した文化がいかなるものか、そして、人々はそれとどのように関わってきたかを示すものでもあります。文化遺産は決して「過去の遺物」ではありません。現代社会が積極的に文化を活用しようとするときに、はじめて文化遺産としての評価が与えられます。文化遺産を通して、人間や社会のあり方を知ることができるのです。

この授業では文化遺産についてのこのようなとらえ方を基本として、世界各地の世界遺産(とくに文化遺産)を取り上げます。担当するスタッフの専門は考古学、美術史、文化財学、文化人類学、先史学、環境学、建築学、文学、宗教学など多岐にわたります。文系、理系の枠を超えたアプローチを行います。この授業を通して、世界遺産の魅力を知るとともに、文化に対する総合的な考察を行う方法を身につけることをめざします。

講義スケジュール / Schedule

回数	テーマ	お知らせ事項	担当教員名	所属
第1回	ガイダンス		<a href="#">森 雅秀</a>	人文学類
第2回	世界遺産とは		<a href="#">森 雅秀</a>	人文学類
第3回	中国		<a href="#">上田 望</a>	人文学類
第4回	中央アジア・北アジア		<a href="#">高浜 秀</a>	人文学類
第5回	カンボジア		<a href="#">塚脇 真二</a>	環日本海域環境研究センター
第6回	インドネシア		<a href="#">鏡味 治也</a>	人文学類
第7回	インド(1)仏教		<a href="#">森 雅秀</a>	人文学類
第8回	インド(2)ヒンドゥー教		<a href="#">矢口 直道</a>	人文学類
第9回	イラン		<a href="#">足立 拓朗</a>	人文学類
第10回	西アジア		<a href="#">藤井 純夫</a>	人文学類
第11回	イタリヤ		<a href="#">宮下 孝晴</a>	人文学類
第12回	ドイツ		<a href="#">志村 恵</a>	国際学類
第13回	中央アメリカ(1)		中村 誠一	国際文化資源学研究センター
第14回	中央アメリカ(2)		中村 誠一	国際文化資源学研究センター
第15回	文化遺産から文化資源へ		<a href="#">森 雅秀</a>	人文学類
第16回	レポート		<a href="#">森 雅秀</a>	人文学類

評価の方法 / Grading Method

※成績評価: 次項の項目及び割合で総合評価し、次のとおり判定する。  
 「S(達成度90%~100%)」、「A(同80%~90%未満)」、  
 「B(同70%~80%未満)」、「C(同60%~70%未満)」を合格とし、

「不可(同60%未満)」を不合格とする。(標準評価方法)

#### 評価の割合 / Grading Criteria

授業には、3分の2以上の出席を必要とする。

レポート	50%
出席状況	50%

毎回、授業終了時に授業へのコメントカードを提出してもらいます。

#### テキスト・教材・参考書等 / Teaching Materials

##### ●[図書館トップページへリンク](#)

特になし

#### その他履修上の注意事項や学習上の助言 / Others

#### オフィスアワー等(学生からの質問への対応方法等) / Consultation Time

火曜 13:00-14:30

メールアドレス [abhaya@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:abhaya@staff.kanazawa-u.ac.jp)

#### 受講者数調整の方法 / Method for adjusting class size

抽選

#### 開放科目 / Subject of open

#### 特記事項 / Special note

[▲ページの先頭へ](#)

185